

## TeX原稿の作り方(論説)

1. 雑誌‘数学’は日本数学会の会員が主たる購読者ですが、その内容は広く一般に公開されます。記事に扱われた内容に興味を持つ大学院生や非専門家も読者と想定されます。

出来るだけ多数の読者に記事の内容を理解して頂けることが望ましいと存じますので、ご執筆の際はその点に格別のご配慮をいただければ幸甚に存じます。

例えば、入門的、歴史的記述を増やす、記事の最初の3分の1くらいは、過半の読者が関心を持ち理解できそうな内容にする等のご配慮をいただければ誠にありがたく存じます。

なお、日本数学会には現在約5000人の会員がおり、多くの会員にとって雑誌‘数学’が数学の研究動向を知る重要なメディアであることを申し添えます。

2. 次の場所にあるTeXのスタイルファイル（(株)リーブルテック提供）をお使いくださるようお願い申し上げます。

<https://www.mathsoc.jp/publications/sugaku/sty/>

「‘数学’の原稿の作り方」

<https://www.mathsoc.jp/assets/pdf/publications/sugaku/sugaku-kitei.pdf>

も併せてご参照ください。

3. 雑誌‘数学’は岩波書店から出版されますが、出版後約2年で電子版が科学技術振興機構(JST)より公開されます。

過去の記事の電子版は次のウェブページから探すことができます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/sugaku/list/-char/ja>

4. 雑誌‘数学’の論説は、その多くの英訳がアメリカ数学会(AMS)編集の Sugaku Expositions より出版されます。校正終了時に、英訳出版の可否および翻訳の方法についておたずねいたしますので、予めお知らせ致します。

<https://www.ams.org/publications/journals/journalsframework/suga>